

氏 名：亀井 縁

学位の種類：博士（看護学）

学位記番号：甲第118号

学位授与年月日：2014年3月10日

学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当

論文審査委員：伊藤 和弘（聖路加看護大学教授、主査）

田代 順子（聖路加看護大学教授）

山田 雅子（聖路加看護大学教授）

小原真理子（日本赤十字看護大学）

博士論文審査結果

審査日：2014年1月20日

研究科委員会提出日：2014年2月18日

看護学研究科博士後期課程	氏名 亀井 縁
専攻分野	看護社会学
論文題名	原子力事故により避難している高齢者の生活再建プロセスの理論化 ～津波により避難している高齢者との縦断的調査による比較～
審査委員	

審査の合否および評価 (・否)

本研究は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災での高齢原子力避難者の生活再建の特徴を同震災における高齢津波避難者の生活再建の特徴との比較を通して、かつ震災発生2年後までを半年毎に縦断的に明らかにしようと試みたものである。研究方法として

はグラウンデッド・セオリー・アプローチが用いられた。審査では、震災発生 2 年後では生活再建はできなかつたと明らかになったのにタイトルが生活再建では不適切な事。「思い」を記述しているが「生活再建」という概念と違和感があるので再考すること。結果に 4 段階（怒り⇒幻滅⇒問題解決・⇒適応⇒社会の再結成）のプロセスを記述すること。及びそれについて考察すること。高齢津波避難者の PTSD が長期化していることについての考察が必要であること。考察において、高齢津波避難者・阪神淡路大震災との比較が不十分であること。政策への提言を深めること、災害復興期における高齢者への支援策をより詳細に記述すること。個人情報全てを記号化すること。などが挙げられた。これらを修正した後、丹念に記述された研究であり、災害看護の分野でも貴重な研究であり、博士論文としての意義は充分にあると評価され、審査結果は「合」となった。